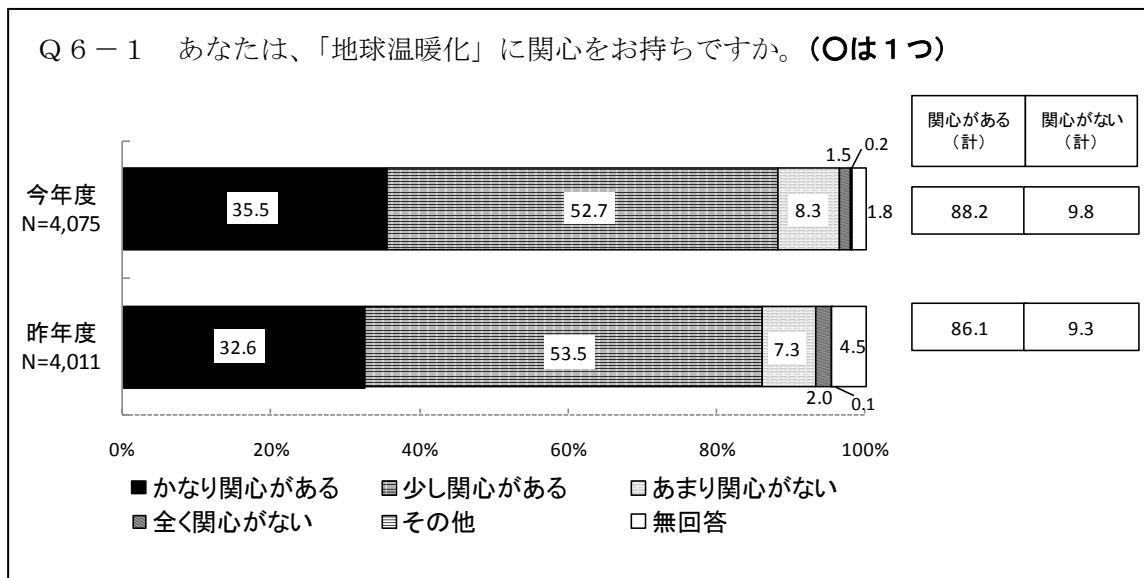


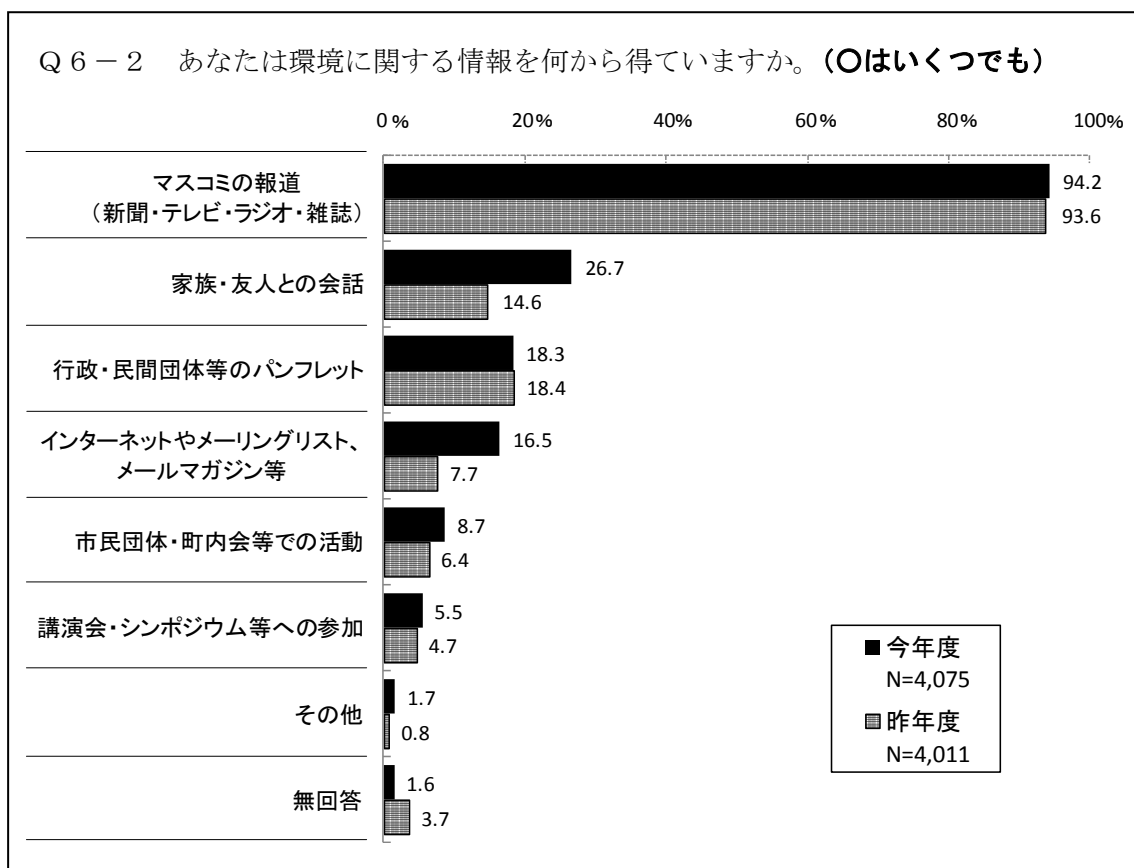
## 6. 地球温暖化

### 6-1. 「地球温暖化」への関心度



「地球温暖化」への関心度について、「かなり関心がある」と「少し関心がある」を合わせた『関心がある (計)』が 88.2%に上り、関心度は非常に高い。昨年度と比較すると、『関心がある (計)』が 2.1 ポイント上昇している。

## 6-2. 環境に関する情報の認知媒体



環境に関する情報の認知媒体について、「マスコミの報道（新聞・テレビ・ラジオ・雑誌）」が 94.2%と最も高く 9 割を超えている。次いで「家族・友人との会話」（26.7%）、「行政・民間団体等のパンフレット」（18.3%）、「インターネットやメーリングリスト、メールマガジン等」（16.5%）、「市民団体・町内会等での活動」（8.7%）、「講演会・シンポジウム等への参加」（5.5%）の順となっている。昨年度と比較すると、「家族・友人との会話」では 12.1 ポイント、「インターネットやメーリングリスト、メールマガジン等」で 8.8 ポイント、「市民団体・町内会等での活動」で 2.3 ポイント上昇している。

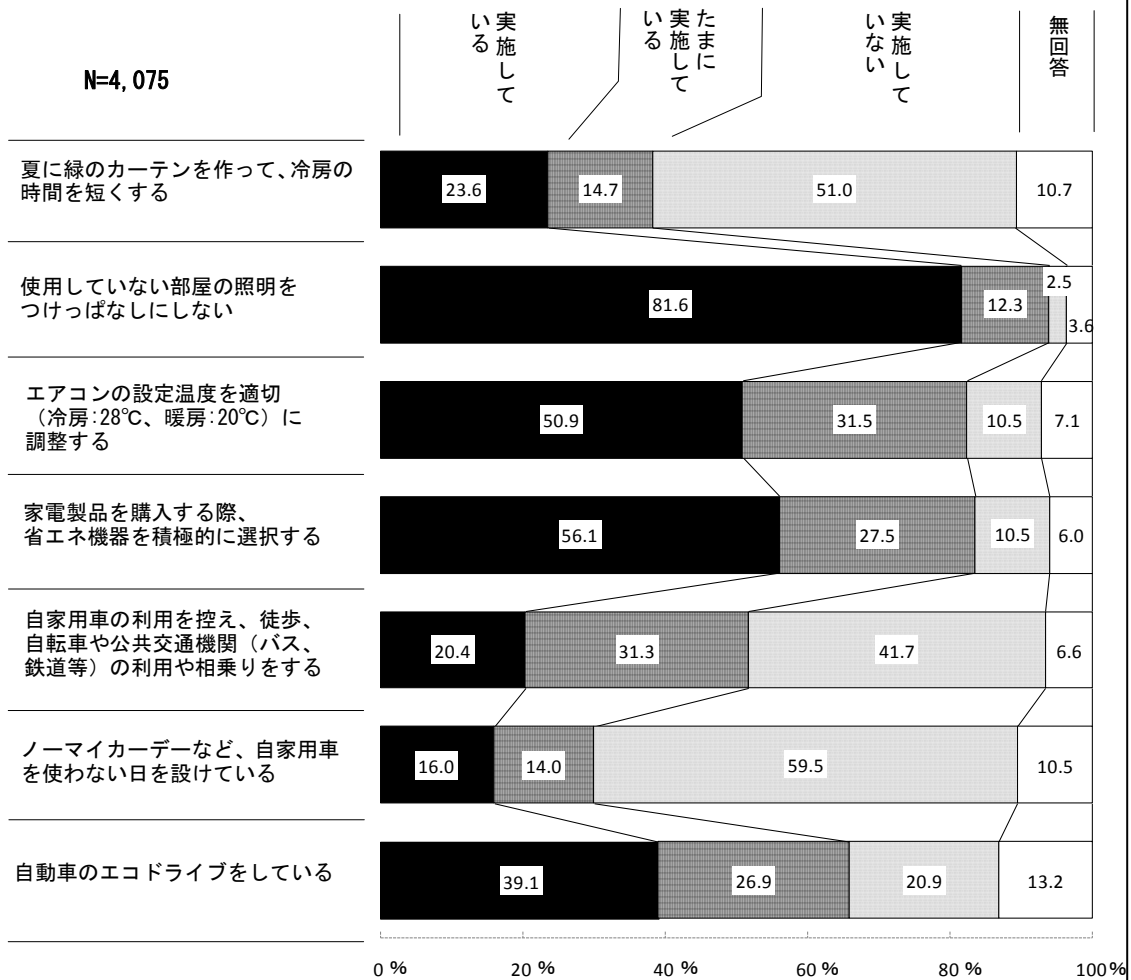
### 6-3. 地球温暖化防止のための取組

Q6-3 あなたの日常生活において、地球温暖化防止のために、どのような取組を行っていますか。

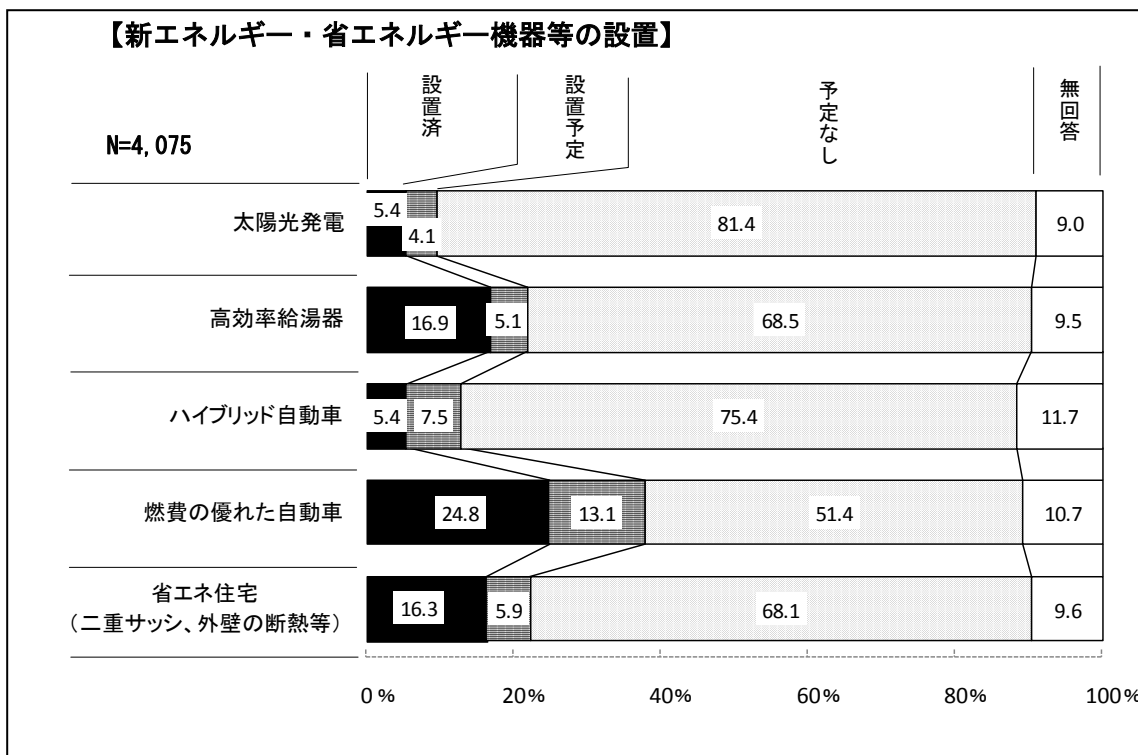
いずれか1つを○で囲んでください。(○はそれぞれ1つずつ)

#### 【家庭での省エネルギーの取組】

N=4,075



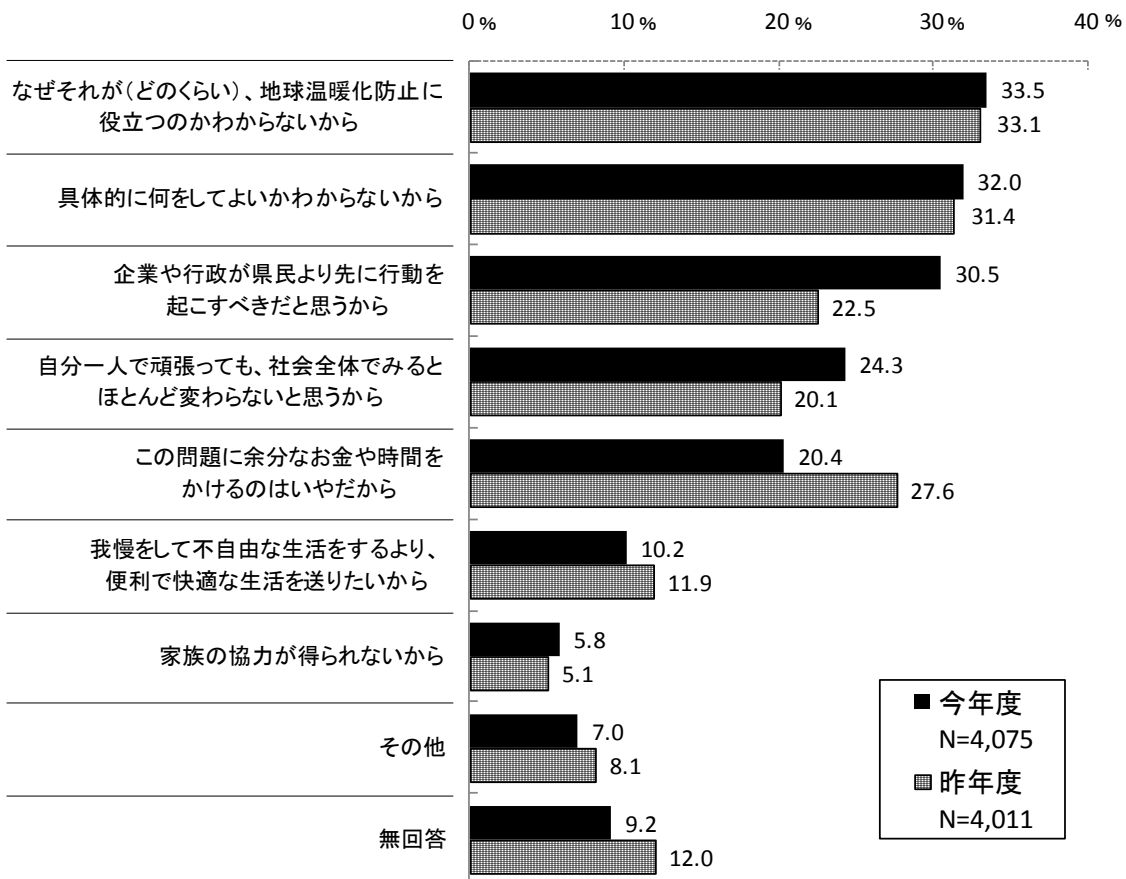
地球温暖化防止のための取組のうち【家庭での省エネルギーの取組】について、「実施している」ことの中では、「使用していない部屋の照明をつけっぱなしにしない」(81.6%)が最も高く、「家電製品を購入する際、省エネ機器を積極的に選択する」(56.1%)、「エアコンの設定温度を適切（冷房：28℃、暖房：20℃）に調整する」(50.9%)も5割を超えている。



地球温暖化防止のための取組のうち【新エネルギー・省エネルギー機器等の設置】について、すべての項目において「予定なし」が高くなっているが、「燃費の優れた自動車」(24.8%)では「設置済」が2割を超えている。

#### 6-4. 温暖化防止行動に取り組みにくい理由

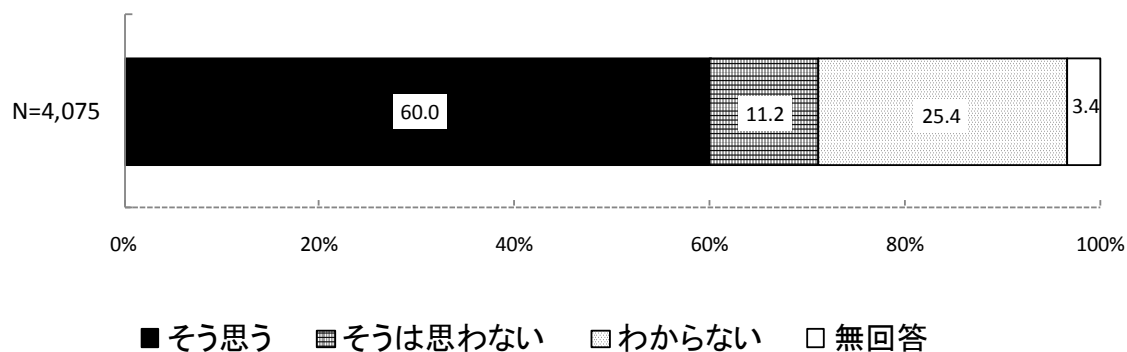
Q6-4 温暖化防止行動を行う場合、取り組みにくい理由は何ですか。現在活発に活動されている方も、取り組みスタート当初の頃を思い出して記入してください。(〇は3つまで)



温暖化防止行動に取り組みにくい理由について、「なぜそれが(どのくらい)、地球温暖化防止に役立つのかわからないから」(33.5%)、「具体的に何をすればよいかかわからないから」(32.0%)、「企業や行政が県民より先に行動を起こすべきだと思うから」(30.5%)が3割を超えて高く、次いで「自分一人で頑張っても、社会全体で見るとほとんど変わらないと思うから」(24.3%)、「この問題に余分なお金や時間をかけるのはいやだから」(20.4%)、などの順となっている。昨年度と比較すると、「この問題に余分なお金や時間をかけるのはいやだから」が7.2ポイント、「我慢をして不自由な生活をするより、便利で快適な生活を送りたいから」が1.7ポイント低下しているが、他の項目では、いずれも昨年度より上回っている。

### 6-5. 「経済発展等より温室効果ガスの排出削減を優先」という考え方

Q 6-5 あなたは、「経済発展や生活の利便性を若干犠牲にしても、地球温暖化の原因とされる二酸化炭素などの温室効果ガスの排出削減を優先しなければならない」という考え方について、どう思いますか。(〇は1つ)



「経済発展や生活の利便性を若干犠牲にしても、地球温暖化の原因とされる二酸化炭素などの温室効果ガスの排出削減を優先しなければならない」という考え方について、「そう思う」が60.0%、「そうは思わない」が11.2%、「わからない」が25.4%となっている。